

[インデックスに戻る](#)

1. 方程式と不等式

1-1. 式の計算

1-1-1. 多項式の加法と減法

1-1-1-1. 単項式と多項式

2、 x 、 $3a$ 、 $(-2)x^2a$ などのように、**数や文字およびそれらの積だけで作られる式を単項式**という。単項式では、かけられている文字や数のうち**数の部分をその単項式の係数**といい、かけてある**文字の個数をその単項式の次数**という。数だけの単項式の次数を**0**とみなすことがある。その場合、数**0**だけの単項式**0**の次数は考えない。

例

- $3x$ の係数は3、次数は1である。
- $-3x^2y$ の係数は-3、次数は3（ x 、 x 、 y の3個の文字がかけられている）である。

単項式が2種類以上の文字を含むとき、それらのうち特定の文字に着目して、次数・係数を考えることがある。この場合、残りの文字は数と同じように扱い、次数を考えるときには数えないし、係数に含める。

例

- $4abx^4$ について
 - x に着目すると、次数は4、係数は $4ab$
 - a に着目すると、次数は1、係数 $4bx^4$
 - a と b に着目すると、次数は2、係数は $4x^4$

$3x^2 + (-5x) + (-1)$ のように、**単項式の和として表される式を多項式**といい、その**1つ1つの単項式を、この多項式の項**という。

$5x^4 - 3x - 2$ は $5x^4 + (-3x) + (-2)$ と表すことができるので多項式である。なお、普通、単項式は多項式に含まれるものとする。多項式のことを**整式**ということもある。

[インデックスに戻る](#)